

昭和庁舎正庁の間



昭和庁舎正庁の間

この部屋は、創建当初から正庁と呼ばれ、格式の高い部屋として使用されてきました。当時の面影をそのままに、今後式典や会議などに使用します。

NHK文化センター 前橋教室

県民の皆さんの芸術文化活動を支援する施設です。現在の講座数は約200です。教養、書画、絵画、写真、手工芸、外国語、くらし生活、音楽、健康、ダンス、パソコンなど、魅力ある多くの講座が開設されています。

「皆で力を合わせるよろこび」 文化活動・団体活動支援の サポーター・フロア

3 F



特別展示室



特別展示室

群馬県出身の歴代内閣総理大臣を顕彰する「上州人宰相記念室」と、群馬県の歩み(年表)を歴代の知事をたどりながら振り返る「県政の歩み展示室」、群馬県名誉県民の肖像画が展示されている「名誉県民肖像画展示室」がご覧いただけます。

会議室・展示室

会議、イベント、美術展等の会場として貸し出します。

「様々な個性がここで花開く」 展示や発表の場となる エクスプレス・フロア

2 F



喫茶室 G FACE CAFE



喫茶室 G FACE CAFE

悠久の時を刻み続ける昭和庁舎ならではのホッとできる空間です。県産の素材を生かしたおいしいお食事と、手作りのケーキをご用意しています。また県内外の多くの芸術家達の利用も多く、質の高いライブや様々なアート活動も行っています。
<http://cokyuan.com>

NPO・ボランティアサロンぐんま

NPOやボランティアに関する相談及び情報交換や話し合いの場、相互交流の拠点として県民の皆さんが自由に利用できる空間です。

●オープン時間…10:00~20:00(日曜・年末年始は休み)

消費生活センター

ご利用いただける時間は、次のとおりです。

●月曜日~金曜日 9:00~17:30

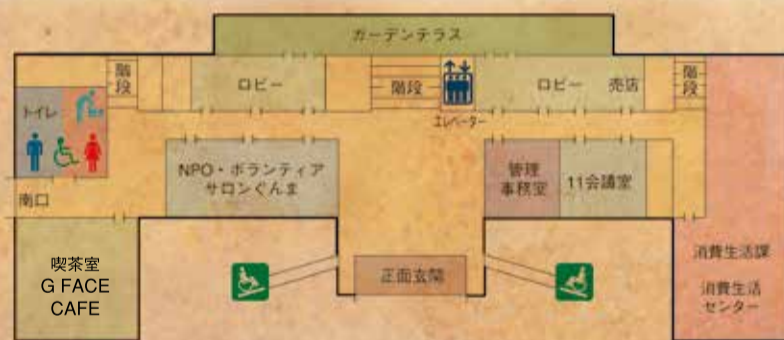
●土曜日・日曜日 9:00~12:00/13:00~17:00

※土曜、日曜は電話相談のみです。

●祝日、年末年始は休みです。

「散歩するような気軽さで」 笑顔とくつろぎに満ちた コミュニティ・フロア

1 F



— すべての人にひらかれた、機能と美しさ —

外観の懐かしさは建設当時のままに、さらに機能性を追求した美しい建造物



建築面積 : 2,125.53㎡
延床面積 : 6,464.09㎡
高さ : 16.75m
規模 : 地下1階地上3階
構造 : 鉄筋コンクリート造

昭和庁舎は、昭和3年に建設され、70年以上の永きにわたり県庁の顔として親しまれてきました。当時の建設費は71万3千円。設計は早稲田大学の大隈講堂、日比谷公会堂を設計した佐藤功一。1階外壁を擬石タイル張り、2・3階をスクラッチタイル張りとした昭和初期の典型的洋風建造物です。スチーム暖房、水洗トイレ、電気式集中制御時計が整備されるなど、当時としては関東近県で最も先進的な建築技術を駆使した建造物でした。

2001年11月に昭和庁舎が国民文化祭の会場として使用されることとなったことから、また、その後の利用のために、改修工事を行いました。建物本体の原型はそのまま保存し、損傷の著しい部分を補修しています。外部は、オリジナル意匠を守りながら、危険除去工事を行いました。タイル部分は、損傷が著しかったため、県庁舎の雰囲気を持たせた色合いのタイルで、全面張り替えを行いました。また西壁面は、全国の左官技術を結集し、左官仕上げによる改修を行い、建設当時の雰囲気を醸し出すような塗壁に復元しました。

内部は、エレベーターを新たに設置し、トイレをつくり替えるなど使いやすさに配慮しました。また、館内は全館バリアフリーとなっており、すべての人にひらかれた新しい群馬の顔として、人々に親しまれています。